

高知県芸術祭 第46回文芸賞 受賞一覧

部門	賞		名前	題名(ただし、短歌・俳句・川柳は作品)
短編小説	文芸賞	1	嶋野 幸(シマノ サチ)	鬼の棲む場所
	文芸奨励賞	2	西村 雅人(ニシムラ マサト)	夏祭り
	文芸奨励賞	3	伊藤 洋二(イトウ ヨウジ)	泡沫散るらん
詩	文芸賞	4	笹岡 紀美子(ササオカ キミコ)	カヨばあちゃん
	文芸奨励賞	5	重田 雅(シゲタ ミヤビ)	何色
	文芸奨励賞	6	甫木 恵美(ホキ エミ)	潮江橋
	文芸奨励賞	7	國友 積(クニトモ ツモル)	後悔
	文芸奨励賞	8	和田 由香(ワダ ユカ)	昨日の明日
	文芸奨励賞	9	下元 真人(シモモト マサト)	母とミサイル
	佳作	10	岡本 敏之(オカモト トシユキ)	お前だけが
	佳作	11	鈴木 倫(スズキ リン)	バスケットボール
	佳作	12	西山 幸一(ニシヤマ コウイチ)	老父母と農業
	佳作	13	松原 一成(マツバラ イッセイ)	海への憧れ
	佳作	14	山崎 辿(ヤマサキ タドル)	モノローグ
短歌	文芸賞	15	中山 恭子(ナカヤマ ヤスコ)	孫と夫男同志の背を丸め秋の厨に碁を打ちてをり
	文芸奨励賞	16	奥宮 武男(オクミヤ タケオ)	コスモスの一枝をもちて出でてゆく仮設住宅最後の一人
	文芸奨励賞	17	宮地 咲実(ミヤジ サクミ)	踊り子の列の後ろを引き締めて広いフラフを振る兄がいた
	文芸奨励賞	18	松崎 飛陽(マツザキ トア)	春風がたんぼぼ連れて旅に出る着いた所は屋根の上だよ
	文芸奨励賞	19	北岡 永遠(キタオカ コトワ)	虹を見る明日いいことありそうだ七色だから七ついいこと
	文芸奨励賞	20	曾我 佳代(ソガ カヨ)	考えて悩んだあげくに更新す仕事場まではまだ要る車
	佳作	21	高橋 治光(タカハシ ハルミツ)	ゆず玉をひとつ湯船に揺らしつつ思うは遠き遠きふる里
	佳作	22	多賀 一造(タガ カズナリ)	祝宴の焚火赤々と闇を照らし踊る漁夫らは影絵のごとし
	佳作	23	廣澤 權士(ヒロザワ トウジ)	授業中カメモシ外からのぞいてる授業を受けたい気分なのかな
	佳作	24	西森 政夫(ニシモリ マサオ)	散骨を願ひし翁は川漁師子や孫の手で川へと還る
佳作	25	川上 理恵(カワカミ リエ)	貧しくともここは原発阻止したる里ぞと空に照る秋の月	
俳句	文芸賞	26	山下 正雄(ヤマシタ マサオ)	素麺干す青海原を裂くように
	文芸奨励賞	27	高橋 治光(タカハシ ハルミツ)	影ひとつ背向(そがい)に伸ばす冬遍路
	文芸奨励賞	28	山崎 光子(ヤマサキ ミツコ)	少年十五歳(じゅうご)鯉呼吸してプール出る
	文芸奨励賞	29	矢野 重雄(ヤノ シゲオ)	裏畑で芋掘り中と貼り紙す
	文芸奨励賞	30	山崎 紀美子(ヤマサキ キミコ)	山寺の障子しめたる白露かな
	文芸奨励賞	31	片岡 幸枝(カタオカ サチエ)	漬物と煮物間を置き大根蒔く
	佳作	32	明石 韭生(アカシ ニラウ)	炭焼きて梁山泊を起(た)ちあげむ
	佳作	33	高松 一港(タカマツ イッコウ)	ひとつづつ書き出す母の年用意
	佳作	34	松村 知香(マツムラ チカ)	遠山をなお遠くして鬼やんま
	佳作	35	西込 とき(ニシゴミ トキ)	掃苔や移民の裔の故郷へ
佳作	36	徳弘 賀年子(トクヒロ カネコ)	流灯のひとつを母として送る	
佳作	37	石坂 陽太郎(イシサカ ヨウタロウ)	炎屋や土まで錆びし造船所	

	佳作	38	中山 久美子(ナカヤマ クミコ)	糶台に燦と室戸の金目鯛
	佳作	39	石崎 雅男(イシザキ マサオ)	満月に生みおとしたる土佐和牛
	佳作	40	浜田 節(ハマダ セツ)	赤道のごとつと動く大暑かな
川柳	文芸賞	41	近藤 真奈(コンドウ マナ)	宇宙が読んでる地球という漫画
	文芸奨励賞	42	濱田 久子(ハマダ ヒサコ)	おぼろ月卵のようになり眠る
	文芸奨励賞	43	岡林 裕子(オカバヤシ ヒロコ)	ガムシヤラをあばら骨からつまみ出す
	文芸奨励賞	44	徳永 逸夫(トクナガ イツオ)	雑学がいてややこしくなる示談
	文芸奨励賞	45	桑名 知華子(クワナ チカコ)	風評にぐらぐらぐらと百日紅
	文芸奨励賞	46	竹内 千恵子(タケウチ チエコ)	光らない螢の訳を聞いてみる
	佳作	47	熊谷 敏郎(クマガイ トシロウ)	日判で折れば良く飛ぶ爆撃機
	佳作	48	さとみ みさ(サトミ ミサ)	就活がピアスの穴を突き抜ける
	佳作	49	川澤 歩佳(カワザワ ホノカ)	いい事がありそうで無い夏休み
	佳作	50	近藤 糾(コンドウ タダシ)	いないいないばあ父になり母を知る
	佳作	51	土居 志保子(ドイ シホコ)	一本の道を三角形にいく
	佳作	52	藤田 ゆずあ(フジタ ユズア)	あさにでる月はひとりでさみしそう